

4 中学校外国語科(英語)：4領域の1つに重点を置いた単元計画例

ここでは、4領域の1つに重点を置いた単元計画例とその評価規準例を提示してあります。単元の評価規準と評価方法の表には**総括的評価**(単元の評価規準に即して子どもの力を判定し、観点別評価及び評定に反映するための評価)を、単元計画表には**形成的評価**(授業の目標に照らし、子どもの学びの状況・状態を見取り、指導に生かすための評価)を示しました。

(1) 聞くことを重点にした単元の流れ

◎教材 NEW HORIZON 1 「Unit 5 お祭り大好き」

◎単元目標

買い物特有の表現と数の尋ね方や答え方を知り、買い物の場面での会話を楽しむ。

また、Let's～や命令文等の指示や提案をするときの表現を使う活動を通して、相手の言葉に適切に応じることができるようにする。

- 買い物の場面や指示・提案のある場面の会話に積極的に参加しようとする。相手の言葉に簡単な言葉や動作で反応して聞こうとする。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 相手の指示や提案に、言葉や動作で適切に応じることができる。(外国語理解の能力)
- How manyを用いた文の用法や名詞の複数形について理解する。命令文やLet'sを用いた文の構造について理解する。(言語や文化についての知識・理解)

◎単元の評価規準と評価方法(総括的評価)

	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現 の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
評価規準	買い物の場面の会話に意欲的に取り組んでいる。相手からの指示や提案に適切に応じようと、簡単な言葉や動作などで反応しながら聞いている。		命令文やLet'sを含む文を正しく聞き取り、相手からの指示や提案に対して、適切に応じている。	数を尋ねるときは、How manyを用いることを理解している。名詞の複数形について理解している。命令文やLet'sを用いた文の構造について理解している。
評価方法	【第3時】相づちを打ったり、メモを取ったりして聞いたことについて、簡単な言葉や動作などで反応しているか、取組の様子を観察し評価する。 【第5時】相手からの指示や提案に、簡単な言葉や動作などで反応しているか、取組の様子を観察し評価する。		【後日】命令文やLet'sを含む文を聞いて正しく理解できるか、リスニングテストで評価する。	【後日】名詞の複数形や、命令文、Let'sやHow manyを含む文の使い方について理解しているか、ペーパーテストで評価する。

◎単元計画

時	授業目標	学習活動	形成的評価
単元の最後にペアで場面を考えてスキット作りをし、お互いのスキットを聞き合い、相手からの指示や提案に適切に応じる活動を行うことを告げ、簡単な言葉や動作などで反応しながら聞く活動に目的意識を持って取り組ませる。			
1	物が2つ以上ある時には複数形で表現することを知り、名詞の複数形について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 英語ノートにある数の歌を歌う。(最初は1～10、次に11～20) ● 教師がHow manyを使いながら、鉛筆やノートなどをいくつ持っているか尋ね、生徒は、持っている数を答える。 ● 複数形があることを知り、教科書のP4, 5の単語を使って複数形の言い方に慣れる。名詞によって発音の仕方に違いがあることや複数形にならない名詞についても理解する。 ● 名詞の複数形の書き方について理解し、教科書P4, 5の複数形をグループで確認しながら書く。 ● 教科書のPart1の新出単語を理解し、内容を聞いて理解する。(教師から聞き取りの視点を与えて聞かせる。) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 名詞の複数形について正しく書いているかどうかノートで理解状況を確認。(知・理)

2	How many を用いる数の尋ね方について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 教科書P4, 5の名詞を用いて、数(100まで)と複数形について復習する。 Part1を読む。(CDの後に→ペア) 教科書のPart2の新出単語を理解し、内容を聞いて理解する。(教師から聞き取りの視点を与えて聞かせる。) How manyを含む文について理解し、ペアでどんな時に使うか考え、いろいろな文を言ってみる。 物の絵(名前)とその数がかいてあるカードを一人5枚ずつもち、カード交換ゲームをする。 カード交換ゲームでの会話をノートに書き、今日の学習を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> How manyを用いて正しく尋ねているかどうか、行動観察とノートで理解状況を確認する。(知・理)
3	買い物特有の表現や数を尋ねる言い方を用いて、買い物ごっこに積極的に参加しようとする。	<ul style="list-style-type: none"> Part1,2を読む。(CD→ペア) Part1,2の表現に言い慣れ、覚える。(CDを相手に→ペアで役に分かれて) Part1,2の表現を用いて、買い物の場面での会話(ほしい物を言う→いくつほしいか尋ねる→数を言う→値段を言う→お金を渡す→おつりを渡す)を役割に分かれて行う。 買い物ごっこの会話をノートに書き、今日の学習を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 相づちを打ったり、メモを取ったりして聞いたことについて、簡単な言葉や動作などで反応しているか、行動観察により確認する。(関・意・態)
4	Let's を用いた文と一般動詞から始まる命令文についての文の構造を知る。	<ul style="list-style-type: none"> サイモンセツズゲームをする。 サイモンセツズで使った文をいくつか書き、命令文の構造を理解する。また、Let'sをつけると相手に提案する表現になることを知り、Let'sを付けても自然な文と、付けても不自然な文とに分けることにより、Let'sを用いた文について理解する。 教科書のPart3の新出単語を理解し、内容を聞いて理解する。(教師から聞き取りの視点を与えて聞かせる。) ペアで、本文の中から命令文とLet'sを用いた文を探し、単語を入れ替えるなどして、お祭りの場面で使えそうな文を考えて言い合い、ノートに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 命令文とLet'sを用いた文についての用法や文の構造を正しく理解しているかどうか、ノートで理解状況を確認する。(知・理)
5	相手からの指示や提案に対して、簡単な言葉や動作などで反応する。	<ul style="list-style-type: none"> Part3を読む。(CD→ペア) ペアで前時の最後に考えた文を言い合い、それに応じ合う。ペアを何度か変えることで、言い慣れを図る。 カードを1人5枚ずつもち、1枚のカードに1文ずつ命令文かLet'sを含む文を書き、それを使って命令ゲームをする。 命令ゲームの中で、友達に言われた文をノートに書き、今日の学習を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手からの指示や提案に、簡単な言葉や動作などで反応しているか、行動観察により確認する。(関・意・態) 相手からの指示や提案に適切に応じているか、行動観察により英語の理解状況を確認する。(外国語理解)
6	それぞれのスキットの場面で、相手からの指示や提案に適切に応じることができる。	<ul style="list-style-type: none"> Part1～3をペアで役に分かれて読む。 命令文やLet'sを含む文が、日常のどんな場面で使えるか発表し合う。 ペアで場面を考え、スキット作りをする。 ペア同士でお互いのスキットを聞き合い、その後、ペアを入れ替えて、指示や提案に応じる役の生徒になり、やってみる。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手からの指示や提案に適切に応じているか、行動観察により、英語の理解状況を確認する。(外国語理解)
後日	リスニングテスト ペーパーテスト	<ul style="list-style-type: none"> 指示や提案のある別の場面での英語を聞いて、言葉や動作で適切に応じることができるか。 名詞の複数形や、命令文、Let'sやHow manyを含む文の使い方について理解しているか。 	

(2) 話すことを重点にした単元の流れ

◎教材 TOTAL ENGLISH 3 “Lesson3 E-mails from the U.S. and India”

◎単元目標

自分の生活や体験を紹介する中で、必要な表現や技法を用いて自分の気持ちや考えを分かりやすく伝え、会話を継続・発展させることができるようにする。

- 与えられた話題で友達と話をし、質問をしたり、自分の感想などを話したりして、工夫して話を続けようとする。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ALTとの会話の中で、与えられた話題についての自分の意見や主張を状況にふさわしい英語を用いて相手に分かるように話し、会話を続けることができる。(外国語表現の能力)
- 現在完了形の文構造について理解している。(言語や文化についての知識・理解)

◎単元の評価規準と評価方法(総括的評価)

	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
評価規準	与えられた話題で友達と話をし、質問をしたり、自分の感想などを話したりして、工夫して話を続けている。	ALTとの会話の中で、与えられた話題についての自分の意見や主張を状況にふさわしい英語を用いて相手にわかるように話し、会話を続けることができる。		現在完了形を用いた文の構造について理解している。 It～for～to.を用いた文の構造について理解している。
評価方法	【第3時】【第6時】【第8時】において、子どもが工夫をして話を続けているかどうか、コミュニケーションへの継続の様子を観察し評価する。	【第9時】【第10時】のALTとの会話における表現の能力を目標に照らして、子どものパフォーマンスで評価する。		【後日】現在完了形とIt～for～to.の文構造について理解しているかどうかをペーパーテストで評価する。

◎単元計画

時	授業目標	学習活動	形成的評価
単元の最後にALTと2人で3分間程度のsmall talkを行うことを告げ、インタビューやペアでの会話活動に目的意識を持って取り組ませる。			
1・2	単元の目標であるALTとの会話を意識して、なりきりインタビューに取り組み、教科書3A、3Bの内容をQ&Aで適切に伝える。	<ul style="list-style-type: none"> ●教師のoral introductionで本文を導入し、タクの体験やE-mail情報をもとに、NASAの宇宙開発事業の様子について読み取る。 ●現在完了形(継続)の文構造について知る。 ●なりきりインタビュー ●ALTとの会話を意識し、教科書の内容についてペアで質問し合い、タクになったつもりで適切に質問に答えるとともに、即時的な会話のやり取りについて学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●現在完了形(継続)の文構造についての理解状況をワークシートで確認する。(知・理) ●単元の目標であるALTとの会話を意識して、なりきりインタビューに取り組み、教科書の内容を適切に且つ即時的に伝えているか、行動観察および、ワークシートで確認する。(外国語表現)
3	「私が今、一番関心を持って続けていること」「私がしばらくやっていないこと」について友だちに紹介する。	<ul style="list-style-type: none"> ●教師の話す英語を聞いて、教師が「今、関心を持って続けていること」について何をどのくらい続けているのかを聞き取る。 ●ALTの話す英語を聞いて、ALTの「私がしばらくやっていないこと」について何をどのくらいしていないのかを聞き取る。 ●「私が今、一番関心を持って続けていること」「私がしばらくやっていないこと」のどちらかの話題を選択し、マッピングをしてイメージを広げて、コミュニケーション活動に備える。 ●友だち同士で「私が今、一番関心を持って続けていること」「私がしばらくやっていないこと」について、できるだけ話が長くように、質問をしたり、コミュニケーションマナーを効果的に活用したりして、工夫をして伝え合う。 ●話したことをノートに英語でまとめ、単元の最後のコミュニケーション活動で活用する。 ●現在完了形の継続用法について、言葉の働きを言語活動を通して理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●与えられた話題で友達と話をし、質問をしたり、自分の感想などを話したりして、工夫して話を続けているか、行動観察により取組状況を確認する。(関・意・態)

4 ・ 5	単元の目標であるALTとの会話を意識して、なりきりインタビューに取り組み、教科書3C, 3Dの内容をQ&Aで適切に伝える。	<ul style="list-style-type: none"> 教師のoral introductionで本文を導入し、ナナの体験やE-mail情報をもとに、インドの生活習慣について日本の文化と比較しながら読み取る。 現在完了形(経験)の文構造について知る。 It～ for～to～の文構造について知る。 なりきりインタビュー 教科書の内容についてペアで質問し合い、ナナになったつもりで適切に質問に答えるとともに、即時的な会話のやり取りについて学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在完了形(経験)とIt～ for～to～の文構造についての理解の状況をワークシートで確認する。(知・理) 単元の目標であるALTとの会話を意識して、なりきりインタビューに取り組み、教科書の内容を適切に且つ即時的に伝えているかどうかを行動観察および、ワークシートで確認する。(外国語表現)
6	「私の心に残った一番の体験」「私がこれから始めてみたいと思うこと」について友だちに紹介する。	<ul style="list-style-type: none"> 教師の話す英語を聞いて、教師の「心に残った一番の体験」についていつどこで何をしたのかを聞き取る。 ALTの話す英語を聞いて、ALTの「私がこれから始めてみたいと思うこと」について何をしたことがなくて、なぜ始めてみたいのかを聞き取る。 「私の心に残った一番の体験」「私がこれから始めてみたいと思うこと」のどちらかの話題を選択し、マッピングをしてイメージを広げて、コミュニケーション活動に備える。 友だち同士で「私の心に残った一番の体験」「私がこれから始めてみたいと思うこと」について、できるだけ話が長くように、質問をしたり、コミュニケーションマナーを効果的に活用したりして、工夫をして伝え合う。 話したことをノートに英語でまとめ、単元の最後のコミュニケーション活動で活用する。 現在完了形の経験用法について、言葉の働きを言語活動を通して理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 与えられた話題で友達と話をし、質問をしたり、自分の感想などを話したりして、工夫して話を続けているか、行動観察により取組状況を確認する。(関・意・態)
7	「私が一番大切だと思うこと」についてまとまりのある英文を書く。	<ul style="list-style-type: none"> 教師の話す英語を聞いて、愛・家族・友・時間・お金・食べ物・勉強の中から教師が「一番大切だと思うこと」を聞き取る。 「私が一番大切だと思うこと」についてワークシートに英語でまとまりのある文を書く。 友だちが書いた英文を読み、賛否やその理由を書いて伝える。 ALTとの会話で使えそうな文をノートに英語でメモをし、ALTとの会話に向けての展望を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> テーマについて目標文(It～for～to.)を用いた英文を自分の立場で書けているか、ワークシートの英文を確認する。(外国語表現)
8	ALTとのsmall talkに向けたペア活動で、自分の意見や主張を工夫して伝え、できるだけ会話が長くように話す。(事前練習会)	<ul style="list-style-type: none"> 単元を通して表現した話題を活用して、「自分らしさが一番伝わる話題でALTと話してみよう」という話題でマッピングをしてイメージを広げ、自分についての紹介文をまとまりのある英語で書く。 何度もペアを替えながら5分間のsmall talkを行い、できるだけ会話が長くように、質問をしたり、コミュニケーションマナーを効果的に活用したりして、工夫をして伝え合う。 会話練習の中で効果的であった話題や表現を簡単なメモに落とし、次時に備える。 	<ul style="list-style-type: none"> 与えられた話題で友達と話をし、質問をしたり、自分の感想などを話したりして、工夫して話を続けているか、行動観察により取組状況を確認する。(関・意・態) 一人一人が次時にALTとの会話活動へ向かえる状態であるか、会話活動の様子から習得の状況を確認する。(外国語表現)
9 ・ 10	ALTとのsmall talkで、自分の意見や主張を状況にふさわしい表現を用いて分かるように伝え、できるだけ会話が長くように話す。	<ul style="list-style-type: none"> ALTと3分間程度のsmall talkを行い、自分の意見や主張を相手に伝える。(現在完了形を用いた一文をきっかけにして話を始め、話の途中でIt～for～to.を用いて自分の思いを伝えるよう、ルールを設定する。) ALTは話をして分かったことを子どもに伝え、子どもの「学びの実感」を引き出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ALTとの会話の中で、与えられた話題についての自分の意見や主張を状況にふさわしい英語を用いて相手に分かるように話し、会話を続けることができるか、子どものパフォーマンスを評価する。(外国語表現)

(3) 読むことを重点にした単元の流れ

◎教材 NEW HORIZON 2 “Let’s Read Try to Be the Only One”

◎単元目標

主人公の生き方や自分自身の生き方について思いを持てるように、主人公の育った境遇や時代背景と関連させながら、その生き方を適切に読み取る。

- 主人公の生き方や考え方について深く理解しようと、根拠となる文章を探しながら意欲的に読み進めようとする。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 主人公の生き方や自分自身の生き方について思いを持つことができるよう、主人公の育った境遇や時代背景とその生き方について読んで理解することができる。(外国語理解の能力)

◎単元の評価規準と評価方法(総括的評価)

	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現 の能力	外国語理解の能力	言語や文化について の知識・理解
評価規準	主人公の生き方や考え方についてより深く理解しようと、根拠となる文章を探しながら意欲的に読み進めている。		自分自身の人生と重ねながら、主人公の生き方について思いを持つことができるよう、主人公の育った境遇、時代背景やその生き方について適切に読み取ることができる。	
評価方法	【第2・3時】主人公の生き方や考え方についてより深く理解するために、根拠となる文章を探しながら読み進めようとしているか、取組の様子を観察し評価する。		【後日】読み取りの視点に沿って、根拠となる文章をもとに適切に理解しているか、別の話を用いてペーパーテストで外国語理解の能力を評価する。	

◎単元計画

時	授業目標	学習活動	形成的評価
単元の最後に、主人公の魅力を伝えることができるようになるために、本文に述べられている主人公の生き方や考え方から、自分が是非紹介したい事柄を選べるよう、目的意識を持って読ませる。			
1	あらすじを大まかに読み取る。	<ul style="list-style-type: none"> ●新垣勉さんの歌う「さとうきび畑」を聞く。 ●1ページごとに音読した後、CDを聞いて読み方(発音)を確認する。 ●新垣勉さんの家族構成や環境、生まれた日、好きなことなど、教師側からの読み取りの視点に基づいて読み、ワークシートに記入する。 ●読み取ったことをグループで確認し、生まれ育った環境等について大まかに理解する。 ●新垣勉さんの人生について初発の感想を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●読み取りの視点に沿って、根拠となる文章を探しながら、あらすじを大まかに理解しているか、ワークシートで確認する。(外国語理解)
2	根拠となる文章を探しながら、読み進めようとする。主人公の子ども時代の思いをより深く読み取る。	<ul style="list-style-type: none"> ●音読で、通し読みをする。 ●1, 2ページ目を読む中で、疑問に思った所や考えたいことを、線を引いたりメモをとったりしながら読む。 ●疑問に思ったことや考えたいことを全体で発表し、みんなで考えたいことを共通の課題とする。 (例) 牧師は、なぜ、涙を流したのだろうか? 新垣さんは、牧師さんが、自分のどんなところを分かってくれたと感じたのだろうか? ●発表や教師からの資料により、新垣勉さんの幼少時代と関係のある沖縄戦について知る。 ●本文の文章を根拠にして課題について読み取り、ワークシートに記入する。 ●全体で、課題について確認し、沖縄戦の影響等からつらい子ども時代を過ごしてきたことを理解する。 ●本時読み取ったことを考えながら、1, 2ページ目を読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ●根拠となる文章を探しながら読み進めようとしているか、取組の様子を観察し確認する。(関・意・態) ●子ども時代のつらい思いを読み取っているか、ワークシートで読み取り状況を確認する。(外国語理解)

3	<p>根拠となる文章を探しながら、読み進めようとする。主人公が、つらい子ども時代を乗り越え、前向きに考えるようになっていった流れについて理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> •ペアで、1文ずつ交代で音読する。 •前時で読み取ったことについて確認し、新垣勉さんの子ども時代について思い出す。 •3, 4ページ目を読む中で、疑問に思ったことや考えたいことを意識しながら読む。 •疑問に思ったことや考えたいことを全体で発表し、みんなで考えたいことを共通の課題とする。 (例) 自分がonly oneだと感じたのは、どんなところからだろう？ 新垣勉さんの歌声には、なぜ明るさを感じるのだろうか？ 新垣さんは、両親に対してどんな気持ちを持っているのだろうか。 •本文を根拠にして課題について読み取り、ワークシートに記入する。 •全体で課題について確認し、つらい子ども時代を乗り越え、"Try to be the only one"と考えるようになっていった流れについて理解する。 •本時読み取ったことを考えながら、全文を通し読みする。 •新垣勉さんの歌う「さとうきび畑」の歌を聴く。 	<ul style="list-style-type: none"> •根拠となる文章を探しながら読み進めているか、行動観察により取組状況を確認する。(関・意・態) •主人公がつらい子ども時代を乗り越え、今のモットーを持つに至った流れについて理解しているか、ワークシートで読み取り状況を確認する。(外国語理解)
4	<p>前時までに読み取ったことを、プロフィールにすることを通して、新垣勉さんの人生について理解を深め、彼の生き方について感想を持つ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> •前時までに読み取ったことを確認しながら音読する。 •子ども時代や牧師との出会い、彼のモットー等について確認する。 •新垣勉さんが、全国各地でコンサートをしていることを知り、コンサートのちらしにのせる紹介文を英語で書く。(グループの形のまま行い、分からないところを聞きながら進める。) •グループ内でお互いが書いた紹介文を交換し、読み合う。 •新垣勉さんの人生についての感想と、自分の生き方について考えたことをノートにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> •主人公の生き方について感想を持つことができるよう、主人公の育った境遇や時代背景と関連させて、生き方をとらえているか、紹介文とノートで理解状況を確認する。(外国語理解)
後日	<p>ペーパーテスト</p>	<ul style="list-style-type: none"> •根拠となる文章をもとに適切に理解しているか、別の話を用いてペーパーテストで外国語理解の能力を評価する。 	

(4) 書くことを重点にした単元の流れ

◎教材 SUNSHINE 3 “PROGRAM 2 Volcanoes in Japan”

◎単元目標

世界遺産への登録に向けて、世界遺産としての価値と自分の考えを、読み手に正しく伝わるように文と文のつながりを意識してまとまりのある文を書くことができる。

- 富士山の世界遺産への登録に向けて、自分の考えを含めながら読み手に正しく伝わるように書こうとする。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 「〇〇を世界遺産に」というテーマで、文と文のつながりを意識したまとまりのある文を書くことができる。(外国語表現の能力)
- 現在完了形の文構造について理解する。(言語や文化についての知識・理解)

◎単元の評価規準と評価方法(総括的評価)

	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
評価規準	富士山の紹介文を、自分の考えを含めながら、読み手に正しく伝わるように書こうとしている。	現在完了形や既習表現を活用して、世界遺産としての価値と自分の考えを、文と文のつながりを意識して書いている。		継続していることや経験した事柄について表現するときには現在完了形を用いることを理解している。現在完了形を用いた文構造について理解している。
評価方法	【第7, 8時】富士山について、自分の考えを含めながら、読み手が理解しやすくなるように英語で紹介文を書いているか、行動観察により取組状況を評価する。	【第10時】「〇〇を世界遺産に」というテーマで、文と文のつながりを意識したまとまりのある文を書くことができるか、できあがった紹介文で英語による表現力を評価する。		【後日】現在完了形の用法について正しく理解しているか、ペーパーテストで評価する。

◎単元計画

時	授業目標	学習活動	形成的評価
単元の最後に「〇〇を世界遺産に」というテーマで紹介文を書くことを告げ、文と文のつながりを意識したまとまりのある文を書くよう、目的意識を持って取り組ませる。			
1	世界遺産についての英文を聞いて理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ● ALTや教師の話す英文を聞いたり、紹介文を読んだりして、世界遺産について知り、興味を持つ。 ● 教科書全文を聞いて、概要をつかむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 世界遺産についての紹介文を聞いて理解を深めているか、ワークシートで理解状況を確認する。(外国語理解)
2	現在完了形(継続)の用法について理解し、これまでずっと続けていることについて話す。	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在完了形を用いた文について理解する。 ● 自分が今まで続けて行っている内容について、現在完了形を用いて1~3文作り、音読できるよう練習する。 ● 自分が今までしてきたことについて友達に話し、相手にも尋ねる。 A: I've ~ since (for)~. How long have you ~? B: Yes, I've ~since (for) ~./ No, I've never ~. ● 尋ねた結果をワークシートにまとめて書く。 Taro has played soccer for three years. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在完了形(継続)の用法について正しく理解しているか、ワークシートで確認する。(知・理)
3	現在完了形(経験)の用法について理解し、経験したことについて尋ね合う。	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在完了形(継続)について復習する。 ● 現在完了形(経験)を用いた文について理解する。 ● 自分が行ったことがある場所とその回数について現在完了形を用いて1~3文作り、音読練習する。 ● 友達と対話する。 A: I've been to ~ () times. Have you ever been there? B: Yes, I have. I've been there () times. No, I haven't. I've never been there. ● 尋ねた結果をワークシートにまとめて書く。 Taro has been to Nagoya three times. 	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在完了形(経験)の用法について正しく理解しているか、ワークシートで確認する。(知・理)

4	教科書の文を参考にしながら、うれしかったことや悲しかったことなどについて対話する。	<ul style="list-style-type: none"> 教科書のPart1の新出単語を理解し、内容を聞いて理解する。(教師から聞き取りの視点を与えて聞かせる。) リサのうれしかった出来事について、内容を正確に聞き取る。 Part1を読む。(CD→ペア) 教科書を参考に、ペアで、本文の単語を置き換えるなどして、うれしかったことや悲しかったことなどについて対話文を考えて言い合う。 ペアで行った対話文をノートに書く。 	教科書の文をもとに、単語や表現を置き換えるなどして、うれしかったことや悲しかったことなどについて伝え合っているか、行動観察により確認する。(外国語表現)
5	教師の与える絵はがきやヒントを参考に、富士山を紹介する英文を考え、友達に伝える。	<ul style="list-style-type: none"> 教科書のPart2の新出単語を理解し、内容を読んで理解する。(教師から読み取りの視点を与えて聞かせる。) 太郎から届いた絵はがきの概要を読み取る。 Part2を読む。(CD→ペア) 富士山の絵はがきや資料を参考に、本文の単語を置き換えるなどして、富士山を紹介する英文を考えて言い合う。 考えた紹介文をノートに書く。 	教科書の文をもとに、単語や表現を置き換えるなどして、富士山を紹介する文を書いているか、ノートで確認する。(外国語表現)
6	桃子の発表や世界遺産についての説明を読み取り、ふさわしい表現を用いて富士山を紹介する英文を書く。	<ul style="list-style-type: none"> 教科書のPart3の新出単語を理解し、内容を読んで理解する。(教師から読み取りの視点を与えて読ませる。) Part3を読む。(CD→ペア) 桃子の発表を読み取り、富士山を紹介するのに有効な表現を見つけ、紹介文をノートに書く。 教科書P21の世界遺産の説明を読み、富士山の世界遺産登録に向けて考えを持つ。 	桃子の発表文や世界遺産についての説明を読んで理解し、ふさわしい表現を用いて富士山を紹介する英文を書いているか、ノートで取組状況を確認する。(外国語表現)
7 8	富士山を世界遺産にするために世界遺産としての価値と自分の考えを、文と文のつながりを意識してまとまりのある文章を書く。	<ul style="list-style-type: none"> 富士山の自然や文化等の中からセールスポイントを選択し、富士山についての紹介文を、辞書を活用しながら各自で書く。 途中、同じものを選択した人同士でグループをつくり、よりよい文になるように、お互いにアドバイスをし合う。 富士山についての紹介文を各自で完成させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 富士山について、自分の考えを含めながら、英語で紹介文を書いているか、行動観察により取組状況を確認する。(関・意・態) 富士山を世界遺産にするため、富士山のすばらしさと自分の考えを、文と文のつながりを意識してまとまりのある文章を書いているか、ワークシートで取組状況を確認する。(外国語表現)
9	友達の作った紹介文を読んで、英語で感想を書く。	<ul style="list-style-type: none"> お互いが作成した富士山の紹介文を読みあい、1文以上、質問や英語で感想を書き添える。同じ班→別の班 友人から出た質問に対して、返答する英文を書き入れる。 	紹介文を読んで、英語で自分なりの感想を書いているか、掲示物で確認する。(外国語表現)
10	世界遺産としての価値と自分の考えを、文と文のつながりを意識してまとまりのある文章を書く。	<ul style="list-style-type: none"> 地域にある有名な場所や史跡を世界遺産にするための紹介文を書く。必要な情報は、あらかじめヒントとして与える。 	世界遺産としての価値と自分の考えを、文と文のつながりを意識してまとまりのある文章を書いているか、英文を評価する。(外国語表現)